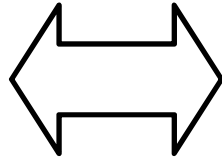


# 今の日本経済とそれを取り巻く環境は 1980 年代後半と酷似しており、日本は黄金期の入り口に立っているのでは！

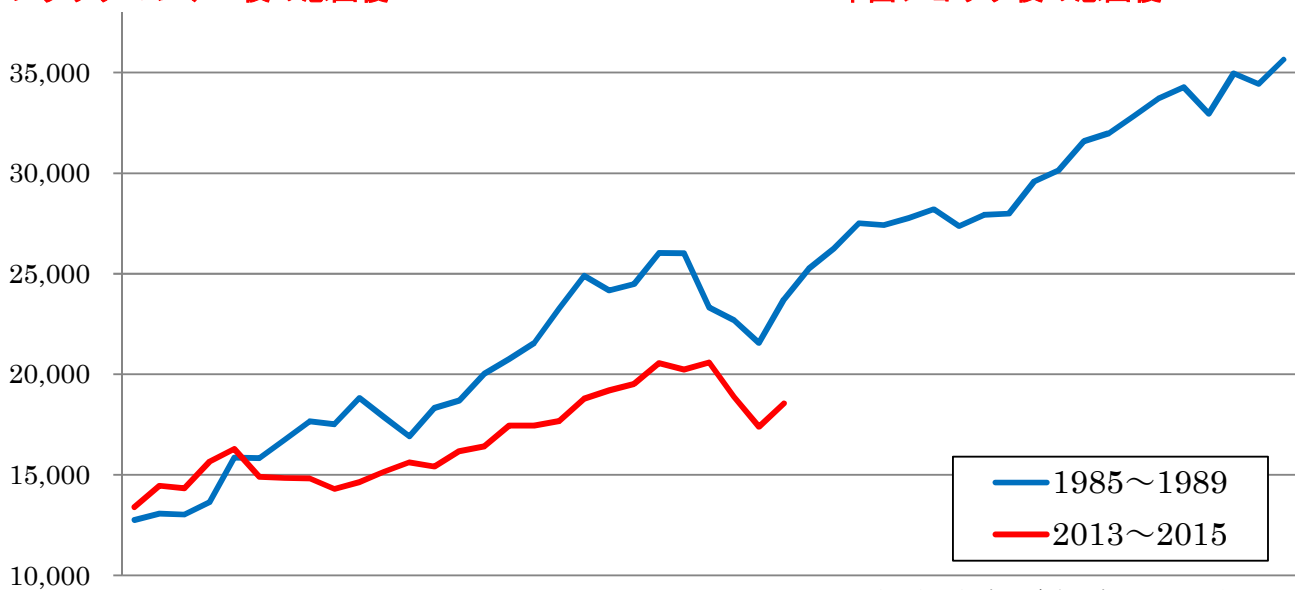
## 1986 年→1989 年

原油価格が 1/3 に下落  
 史上最低の公定歩合  
 公共事業費が増加に転じる  
 消費税導入  
 「死んだふり解散」で自民党圧勝  
 「前川レポート」による構造改革  
**ブラックマンデー後の急回復**



## 2014 年→2017 年

原油価格が 1/2 に下落  
 金融の異次元緩和  
 機動的な財政政策  
 消費増税  
 「アベノミクス解散」で与党圧勝  
 「日本再興戦略」による構造改革  
**中国ショック後の急回復？**



(出所) 株価データ倉庫のデータをもとに飯塚中川証券が作成

### 政府の思惑？

- ・ 2015 年後半は原油安効果が顕在化し景気は上向くだろう。

原油安メリットはこれだけ大きい！  
 1 バレル 60~70 ドル (現在 45 ドル前後) として年間 7~8 兆円の所得の海外流出が抑えられる  
 = 経済成長率を 1% 近く押し上げる効果  
 家計においても年間 400 万くらいの標準的な家計で消費税を 1% 下げると同じ効果

- ・ 来年夏の参議院選挙で大勝し憲法改正議論を本格化させたいので、郵政 3 社の上場で株式相場に弾みをつけたい。
- ・ 2017 年の消費増税ではある程度の景気の下振れは避けられないから、その影響を吸収できるくらい景気に勢いをつけたい。

### リスク

1. アメリカの金融緩和終了
2. ヨーロッパの政治動向
3. 産油国の動向
4. 中国の経済動向

(第一生命経済研究所 永濱利廣著『日本経済黄金期前夜』を参考に飯塚中川証券が作成)